

新たな温室効果ガス削減目標を設定しました

2030年度の温室効果ガス削減目標として、
2013年度比で46%削減

和歌山県では、2021年3月に策定した第5次和歌山県環境基本計画において、温室効果ガスを2030年度に、2013年度比で30%削減する目標を設定し取組を進めてきました。

2020年度の温室効果ガス排出量が、2013年度比で31%削減を達成したことから、新たな温室効果ガス削減目標を設定しました。

【温室効果ガス削減率】

	従来目標 (2021年3月策定)	2020年度 実績 (2023年公表)	新たな 削減目標	国目標 (2021年4月策定) (2021年10月策定)
合計	▲30%	▲31%	▲46%	▲46%
温室効果ガス排出量	▲29%	▲31%	▲46%	▲45%
(主な内訳)				
産業部門	▲21%	▲29%	▲45%	▲38%
運輸部門	▲34%	▲15%	▲34%	▲35%
家庭部門	▲57%	▲51%	▲61%	▲66%
業務部門	▲57%	▲43%	▲68%	▲51%
森林吸収量	▲6.4万t	▲6.2万t	▲7.4万t	▲0.38億t

※環境基本計画では、2050年度の温室効果ガス排出量実質ゼロ（カーボンニュートラル）を目指すことを目標としています。

【温室効果ガス排出量削減に向けた主な取組の方向】

- ・産業部門：省エネ性能の高い設備・機器等の導入推進など
- ・運輸部門：次世代自動車の普及、公共交通機関の利用促進など
- ・家庭部門：学校や地域における環境教育の推進、家庭での省エネ活動の推進など
- ・業務部門：建築物の省エネ化、省エネ機器の普及など
- ・県の事務事業：県有施設への太陽光発電設備設置、公用車の電動化など
- ・森林吸収源対策：間伐等の森林整備の推進による森林経営面積の増加

担当者 環境生活総務課 橋本、山田

連絡先 073-441-2670